

# 「(仮称)中野区子どもの権利に関する条例の考え方」に対する子どものみなさんからの主な意見とそれに対する区役所の考え方

中野区役所では、子どもが安心して暮らすための新しい条例(ルール)を考えています。条例の考え方について、若宮児童館(10/22)、野方児童館(10/27)、城山ふれあいの家(11/10)で、子どものみなさんから意見をききました。

No	主な意見	区役所の考え方
1	暴力を受けないことは、学校でも教わっており、当たり前のことである。	区に関わるすべての人が当たり前のことを理解し、協力しながら子どもの権利を保障していくことが大切であると考えています。
2	旅行先を決めるときや買い物に行ったときなど、子どもに関することを行うときは、子どもの意見を聞いてほしい。	条例の基本的な考え方として、子どもは意見、考え、思いを自由に言うことができ、自分に関係のあることについてその意見などが大切にされることを書いています。こうした考え方を広め、子どもの意見が尊重されるまちを目指していきます。
3	勉強したり、遊ぶ時間は大切であるが、休む時間も大切である。	子どもにとって、学ぶことも、遊ぶことも、休むこともそれぞれ大切であると考えており、あらゆる場面において、特に保障される権利として書いています。
4	コロナ禍で、学ぶ権利や遊ぶ権利が守られていない。	感染症対策をしっかりとやりながら、子どもの学ぶ権利や遊ぶ権利を保障していく必要があります。
5	失敗を笑う人がいるが、それはおかしい。「失敗をしてもやり直せること」が大切である。	子どもが失敗を恐れずにチャレンジできるような環境づくりを進めていきます。
6	大人が隠し事をするように、子どもにとって秘密にしたいことがある。	子どもの年齢や成長に合わせてプライバシーが尊重されることを条例に書いており、学校や家庭などと協力し、取組を進めていきます。
7	性別などによって、差別されると感じることもある。また、差別される人は自分が差別されたらどう感じるか考えるべきである。	性別だけでなく、どんな家に生まれたか、お金持ちであるかどうか、国の違いや話す言葉、どんな意見を持っているか、心やからだに障害があるかどうかなどにより差別されないことを書いており、学校や家庭と協力し、取組を進めていきます。
8	「子どもだから食べてはいけない」と言われることがあり、理由を説明してほしいと感じた。	子どもは意見、考え、思いを自由に言うことができ、自分に関係のあることについてその意見などが尊重されることや、大人は、子どもの意見がどのように尊重されたかを分かりやすく説明することなどを条例に書いています。
9	悩み事について、保護者や先生に話すことと大事になるので相談しづらい。保護者や先生ではない大人に、話を聞いてもらえ、一緒に解決策を考えてくれるような場所があると良い。	(仮称)中野区子どもの権利救済委員は、子どもの話を聞き、子どもと一緒に考え、子ども自身がどのように解決をしたいのかを大切にしてくれる存在です。他の人に知られたくない相談については、秘密が守られるような体制を考えていきます。
10	相談することは勇気があることなので、相談方法を工夫する必要がある。	電話のみでなく、電子メールなどの相談方法も考えていきます。また、気軽に相談に来られるような相談窓口づくりも考えていきます。
11	漢字が苦手な子どももいるので、すべての漢字にふりがなを振った方が良い。	小学校で習わない漢字についてはふりがなを振っていましたが、みなさんからのご意見を受けて、より多くの人が理解しやすいよう、すべての漢字にふりがなを振るように直します。
12	子ども自身が、子どもには権利があるということを知ることが大切である。学校の授業の中で取り扱うべきである。	子ども自身が、子どもの権利を知ることが大切であると考えています。子どもの年齢や成長に合わせたご案内を作ったり、学校と協力したり、色々なやり方を考えていきます。
13	子どもと一緒にされることが多いが、子どもでも乳幼児と小学生では異なる。公園遊具や図書館の本は、大部分が小さい子ども向けで、小学校高学年が楽しめるものが少ない。また、本を買うときは、子どもの意見を聞いてほしい。	条例に基づき、公園や図書館などをより良くしていくための取組を進めていきます。子どもの年齢や成長をよく考えながら、また、子どもの意見を聞きながら、取組を進めていきます。



## 他にもこんな意見がありました！

犯罪や火災の発生が不安。安心して暮らせる環境が大切。／自由に意見を言えている。／自由に意見を言えない時もある。／やるべきことをやればきちんと休めているし、学校で勉強したり、ドリルを買ってもらえたりするし、遊ぶこともできている。／居場所があれば利用したい。／学校と児童館以外の遊ぶ場所を作ってほしい。／バスケットコートがもっとほしい。公園にゴールがあるだけでも良い。／プライバシーは守られている。／プライバシーが守られていないことがある。／家の前でタバコをポイ捨てした大人がいたので注意したら、「子どものくせにうるさい！」と言われてすごく嫌な気持ちになった。／不当なあつかいを受けることもあるが、まだ子どもなのでなんとも言えない。／救済委員はAIを用いたロボットが良い。／子どもの権利を保障するために条例があった方がよい。